



さんさんレター vol.13

2025年 12月号



スペシャルインタビュー



MYパワー PEOPLE!

「MYパワーは、地域を元気にしたい人たちと共に活動を進めています。そんな仲間の皆さんをMYパワー PEOPLEとしてご紹介します！」

かみぬま よしゆき

#01 愛知県立足助高等学校校長 上沼善雪さん

今回は教育の分野で関わっている足助高校の上沼校長に、経営企画部の鈴木雄也がお話を伺いました。



先生ご自身、学校について簡単に紹介ください。

私は2024年4月に赴任して幸田町から通っています。足助高校の生徒は2年生からコース選択をし、現在は普通科の中に文系、理系、一般教養、観光ビジネスの4つのコースから選びます。

来年度からは、観光科が新設されることになり、40名を募集しています。県内で唯一の観光課です。全県募集で、すでに「来たい」と志望している中学3年生もいます。

いつも協力してくださる足助の地域に感謝しています！



観光ビジネスコースの取り組みが賞を受けたと聞きました。

はい、足助地区をフィールドに生徒が企画からガイドまで務めるツアー「高校生トラベル®」が評価されて、第9回ジャパン・ツーリズム・アワードで観光庁長官賞をいただくことができました。応募総数213件から選ばれ、非常に光栄に感じています。

足助の方たちのご協力がなければ、ツアーはできていません。受賞したことで「少し恩返しできた」と正直ホッとしています。



MYパワーが一緒させていただいている「学生寮」について教えてください。

来年からスタートする観光科は全県募集なので、市外など遠方から入学する生徒たちの住まいが必要になります。実は本校の敷地内には以前女子寮として使われていた建物がありますが、7～8年使われておらず、エアコンも設置されていないため、再活用することは難しいです。困っていたところ、MYパワーさんが空き家を借りて、女子生徒3人がルームシェアできるように改修を進めてくださっているのが非常に助かっています。

MYパワーの皆さんが、電気の小売の営業をすることなく、目を輝かせて地域についての話をされる姿を見て「信頼できる」と感じています。



今後の足助高校と、地域の関わり方について、どのような展望を持っていますか。

最近読んだ本に「良い地域には良い学校があり、良い学校が良い地域を作る」という言葉がありました。スタートは地域なんです。足助という良い地域があって本校に協力してくださることで、様々な活動ができています。

本校では今年度から定期考査の回数を減らして、終日地域に出かける「探究デイ」を2日設けています。これからも生徒が地域の方から学べる機会を積極的に増やしていきたいと思っています。



写真は「高校生トラベル®」ツアーの様子

取材を終えて

地域の学校として、魅力的な取り組みを積極的に仕掛ける足助高校さんの話は、いつもワクワクします！MYパワーは地域の人材がもっと活躍できるように、教育にも積極的に貢献していきたいと思っています！（鈴木雄也）

国土交通省、中部運輸局 が共助交通の取り組みを視察

11月7日（金）、国土交通省中部地方整備局中川副局長、中部運輸局交通政策部佐藤部長をはじめ、6名の方が、MYパワーが行っている「たすけあいカー」など共助交通の取り組みを中心に視察に来られました。

国交省では、多くの課題を抱えている地域の生活を維持し、持続可能な地域を形成していくため、公共サービスを始めとする生活利便サービスをいかに維持していくかについて検討する「地域生活圏研究会」を立上げています。

「しきしまの家」の取り組みやつくらッセルでの「里モビ」の取組みについても視察され、中山間地域での課題解決に向けた先進的な取組みについて大変興味深いと言われていました。（関原康成）



つくらッセルでの視察の様子

敷島自治区で期間限定の 電力切替キャンペーン

MYパワーがおたがいさま電力（下記 Q&A 参照）などの取り組みで連携・協働している敷島自治区では、現在、期間限定・電力切替キャンペーンを行っています。これまでにすでに切替を頂いた 56 世帯に加えて、本キャンペーンを通して既に 20 件以上の切替申込が来ており、問い合わせも増加しています。

MYパワーの電気に変えても暮らしは何も変わらないという安心感、加えて敷島自治区では「しきしまの家」への還元を通して、MYパワーの電力を使うことが地域のためになるという実感が徐々に広がっています。今後 MYパワーは「しきしまの家」とともに、さらに電力の切替と地域への還元を推進していきます。（鈴木雄也）



しきしまの家のイベントでキャンペーンを PR

「田園回帰1%戦略」の 著者・藤山浩さんが視察

10月20日（月）、（一社）持続可能な地域社会総合研究所の藤山浩所長と島根県立大学の豊田知世教授が MYパワーの支援先であるしきしまの家を視察しました。藤山浩さんは、「中山間地域が1年に1%ずつ人と仕事を取り戻せば、30年後も消滅しない」と説く「田園回帰1%戦略（農山漁村文化協会）」の著者です。

しきしまの家の取り組みを聞いた藤山さんは、「農を持続して景色を守る、を目標の一つに掲げていることに痺れた。景色には住民の意志が表れる」とコメントし、MYパワーについては「ありえないくらい頑張っている。しっかり人材を配置してやるべき大切な事業です」と後押ししてくださいました。（ユカキカク木浦）



藤山浩さん（後列右端）、豊田知世さん（前列左端）

MY パワー Q&A よくあるご質問にお答えします！

Q. 株式会社三河の山里コミュニティパワー（＝MY パワー）は、どのような会社ですか？

A. MY パワーは地域の課題解決を目的とする地域新電力会社です。地域のお金を地域で循環させること、地域の雇用を生み出すことを目指しています。MY パワーの電気は、豊田市の渡刈クリーンセンターで発電された電気（※1）であり、豊田市の山間部の公共施設と一般のご家庭、企業様を中心に供給しています。

また、自治区や自治会・町内会といった集落単位で、電気の切り替えをいただいた一部の地域に対しては、電気を販売して得た利益の一部を「地域課題解決金」（※2）として還元する「おたがいさま電力」という仕組みを通して、地域のみなさんと共に課題解決に取り組んでいます。

（※1）2025年11月時点（※2）2024年度実績 13地域（自治区・自治会・集落）で合計117件 合計金額495,896円